

皮膚科医目線で、自宅での育毛ケアを進化させました。

女性の育毛には、量だけでなく太さが重要。
だから、皮膚科医発想のWステップの育毛剤で

太い髪へ育毛



2014年4月1日(火) Debut!

“髪元”を育む毛根が弱った状態で薬用成分を与えても、
太く丈夫な髪は生えない。

そんな発想から生まれた2剤タイプの本格育毛剤。

女性の薄毛の特徴は、抜けるだけでなく細くなること。薬用の育毛剤でしっかり
ケアしているのに、髪のボリュームを取り戻せないという声をよく耳にします。

毛根が弱った状態では、せっかく有効成分を届けてもしっかり強い髪を発毛
させることができない…そんな皮膚科医独自の発想から、薄毛を何とかした
い女性のための、2剤タイプの育毛プログラムが誕生しました。



まずは
毛根を活性化

活性化された
毛根に薬用成分を

ミュウノージュ Wアプローチヘアプログラム

MUNOAGE
ADVANCED MEDICAL CARE
MIDTOWN TOKYO

6,787円(税込)

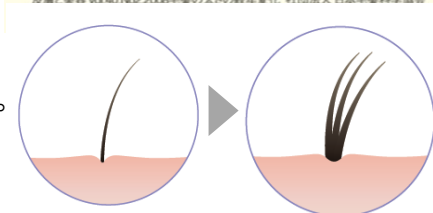
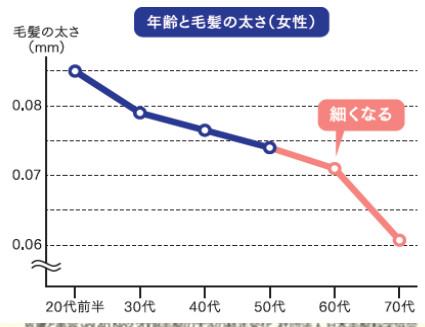
1剤 養毛料 30mL X 2本入り
2剤 薬用育毛剤 30mL X 2本入り

女性の育毛には、量だけでなく太さが重要。 だから、ミュノアージュの育毛は“ただ生える”ことをゴールにしません。

●女性の髪は、70代では20代の約27%も細く。
地肌が透けて見える原因に。
だから「太い髪への育毛」にこだわりました。

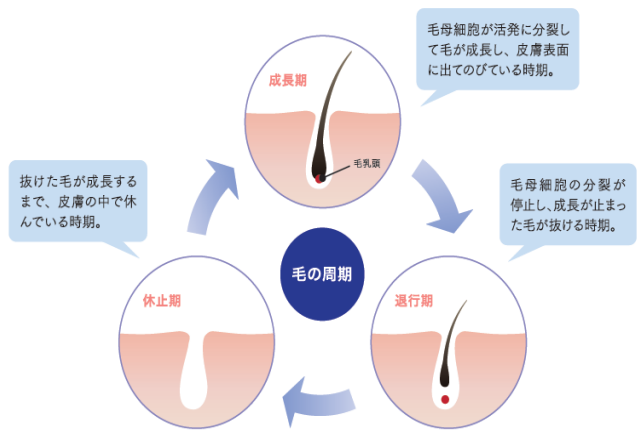
男性と違い、抜けるだけでなく1本1本が細くなるのが女性型薄毛の特徴です。生えていないわけではないけれど、地肌が透けて見える、分け目が広がって見えるのはこのため。

だから、ミュノアージュは、“ただ生える”ことをゴールにしません。しっかりと丈夫な太い髪への育毛にこだわった女性用育毛剤を開発いたしました。



「太さ」にもこだわった育毛

●育毛の可能性を広げた、皮膚科での育毛治療。
その皮膚科目線を、家庭での育毛に活かしました。



「薄毛、抜け毛は皮膚科で治療できるもの」という考え方が浸透し、本当に実感できる育毛が可能な時代となりました。

特に、育毛治療を新時代へと推し進めた画期的な治療法が、毛周期に着目し開発された「HARG(ハーグ)療法*」。髪の成長期が短くなり、休止期が長くなってしまったサイクルを、成長因子を使って元の正常なサイクルに近づけるというこの治療は女性にも有効で、抜け毛を予防するだけでなく生える実感のある治療として高い評価を得ています。

そんな大きな進化を遂げた皮膚科での育毛治療の発想を、家庭での育毛の進化に活かしたのが、ミュノアージュWアプローチヘアプログラムです。

*Hair(毛髪) Re-generative(再生) therapy(治療)という言葉の頭文字をとった治療法。再生医療の技術を薄毛治療に応用した毛髪再生医療。



皮膚科医目線で開発
東京ミッドタウン
皮膚科形成外科/アージュ院長
今泉明子医師
【医学博士・皮膚科専門医】

日本赤十字医療センター、ニューヨーク ワイルド・コーネル大学での勤務の後、2007年より現職。ボトックス®の認定指導医を務めるなど、年齢肌への美容医療の第一人者として、シワ、たるみ、薄毛等の治療を行っている。米国での経験で出会ったやけど跡の治療クリームの発想をヒントに開発された、肌再生理論を応用したエイジングケア「ミュノアージュ」を開発。

皮膚科での育毛治療の進化ポイント

- 成長因子の活用→毛根活性
- 毛母細胞生成促進→太くしっかりした髪へ



この発想を自宅での育毛に応用

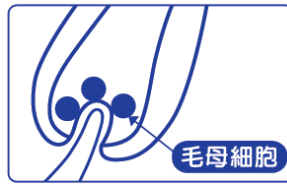
成長因子の力を応用し①毛根を活性化してから②薬用成分を届ける2剤タイプの育毛剤。太い髪への育毛。

●活力を失った毛根に薬用育毛成分を与えたところで、有効なのか？という疑問からの新発想。

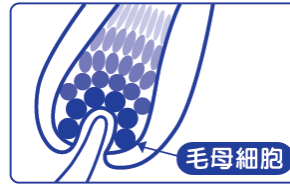
髪の毛は、毛根内で、「毛母細胞」と呼ばれる髪の毛の元となる細胞が活発に作られることで生まれます。この、毛母細胞を作り出すサイクルが正常に機能していることが、強く丈夫な髪を育む上で重要なのです。

毛根が活力を失い、髪の毛の元となる毛母細胞が少ない状態で育毛成分を与えても、しっかりと丈夫な太い髪を育むことはできないはず。ミューノアージュはそこにアプローチしました。

どちらの状態でも育毛成分を与えるか？に着目



髪の毛の元となる「毛母細胞」が少ない状態



髪の毛の元となる「毛母細胞」がしっかりスタンバイした状態

●だから2剤タイプのWアプローチ： 成長因子様成分オクタペプチド-2配合で毛根活性+薬用育毛効果。

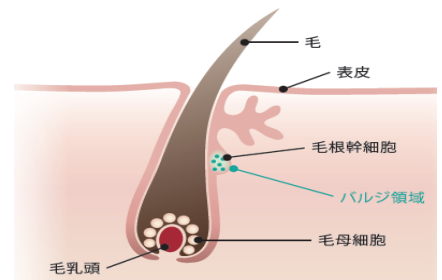
成長因子の力を活用する、皮膚科での育毛治療の発想を応用しました。まず、成長因子様成分、オクタペプチド-2を配合した1剤を頭皮になじませ毛根を活性化。髪の毛の元となる「毛母細胞」が作られた状態で薬用育毛成分を浸透させるという発想で、効率的に、しっかりとコシのある太い髪への育毛システムが誕生しました。

ミューノアージュ Wアプローチヘアプログラムのメカニズム



成長因子様成分オクタペプチド-2とは？

毛髪が生えるためには、毛根のバルジ領域において、毛根幹細胞（これが分化しながら毛根の下端に下りてきて、髪の毛の元である「毛母細胞」となる）が作られていることが肝心。このバルジ領域を活性化する成長因子チモシンβ4と同様のはたらきをするのが、8つのアミノ酸で構成されるオクタペプチド-2。さらに、幹細胞が下端に移動する際の成長、分化を促進すると言われています。



●「太い髪への育毛」のために皮膚科医目線で配合成分を厳選。

【1剤】

オクタ
ペプチド-2

成長因子様成分。毛根を活性化し「髪の元」の生成を促進。

ヒアルロン酸
Na

保湿成分で頭皮を健やかに。

カミツレ花
エキス

保湿成分で頭皮を健やかに。

シソ葉エキス

抗炎症成分で頭皮を健やかに。

【2剤】

グリチルリチン
酸ジカリウム

薬用育毛有効成分。

センブリ
エキス

薬用育毛有効成分。

ピロクトン
オラミン

薬用育毛有効成分。

酢酸DL- α -
トコフェロール

薬用育毛有効成分。

パントテニル
エチル
エーテル

薬用育毛有効成分。

ニンジン
エキス

血行促進も期待される保湿成分。

イチョウ
エキス

血行促進も期待される抗炎症成分。

カキ
タンニン

消臭効果も期待される保湿成分。

●育毛剤なのにノンアルコール(エタノール)。

ミュノアージュ共通の無添加条件もクリアし頭皮にやさしく育毛。

育毛剤は、爽快感を与えるために、アルコールを配合したものが多くみられます。しかし、皮膚科医開発のミュノアージュは、頭皮へのやさしさにこだわり、アルコール(エタノール)無配合で育毛剤を開発しました。さらに、ミュノアージュスキンケアとも共通で、香料、着色料、防腐剤(パラベン)、鉱物油、石油系界面活性剤も無添加。

太い髪への育毛効果には、頭皮が健やかであることも欠かせない条件。皮膚科医発ブランドのこだわりです。

●櫛で髪を分けるように、突起ノズルで頭皮に直接塗布。 髪がべたつかず、朝のスタイリングも邪魔しません。

高さのある突起ノズルだから、櫛で髪を分ける要領で、髪をかき分けながら頭皮に直接スーッと塗布。スプレータイプや振りかけタイプのように髪への飛び散りがないので、髪がべたつかず、お出かけ前にも安心してお使いいただけます。



女性のための、しっかり太い髪への育毛。
皮膚科医発想のWアプローチの育毛システムでお応えします。